

しめい
ID氏名
シール
ちようふ
貼布

ぜんそく
「喘息(イプロテノール持続吸入療
ほう
法)で
にゆういん
入院される患者さんへ」

にゆういん
たいいん
よていひよう
入院から退院までの予定表

よていひよう
めやす
かんじゃ
じようたい
よてい
へんこう
*この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態により、予定が変更になる
りようしやう
こともありますのでご了承ください。
なお
えんりよ
かんごし
そうだん
尚、わからないことがありましたら、遠慮なく看護師にご相談ください。

	にゆういん 入院当日	びようじつめ 2病日目	びよつめ 3病日目	びよつめ 4～6病日目	
<p>きよう 今日の もくひよう 目標</p>	<p>さんそ とうよ 酸素投与をしながら、呼吸が楽に出来るように けつえきちゆう さんそ ほうわ ど (血液中の酸素飽和度が95%以上保てる) あんせい 安静にすることが出来る。 くすり ふくさよう 薬の副作用がおこらない せき ぜいめい ちようせい す 咳や・喘鳴を調整しながら過ごせる</p>	<p>こきゆう らく 呼吸が楽になってくる(血液中の酸素飽和度が95%以上保 かいわ でき てくる) かいわ でき 会話が出来るようになる すいぶん 水分がとれるようになる ぜいめい けいげん 喘鳴が軽減する せき けいげん 咳が軽減する くる じかく しょうじよう へ 苦しいという自覚症状が減ってくる。 くすり ふくさよう 薬の副作用がおこらない</p>	<p>らく こきゆう 楽に呼吸ができる(血液中の酸素飽和度が95%以上保て くる くる 苦しいという自覚症状が減ってくる。 げんき 元気が出るようになる。 しよくよく で 食欲が出てくる げんき で 元気が出てくる。 せき ぜいめい な 咳や喘鳴がほとんど無くなる かいわ 会話がスムーズに出来るようになる</p>	<p>さんそ らく こきゆう 酸素がなくても楽に呼吸ができる(血液中の酸素飽和度が95%以上保てる。) げんき 元気があり、機嫌も良い。 ふだん どの しょくじ でき 普段通りの食事が出来る。 よるねむ 夜眠れている。 くる じかく しょうじよう 苦しいという自覚症状がない。 かいわ でき 会話がスムーズに出来る。 たいいんご せいかつじよう ちゆういてん わ 退院後の生活上の注意点が分かる。 たいいん でき 退院することが出来る。</p>	
<p>おも 主な ちりやうない 治療内容</p>	<p> さいけつ 24じかん てんてき おこな 採血・24時間点滴を行います。 ステロイドを投与する場合があります。 また、抗生剤の注射を7時、14時、20時頃1日2～3回行う場合があります。 ちい さいおさま 小さいお子様の場合、点滴の固定をしっかりさせて頂きます。点滴の所がはれてきたり痛がる場合は看護師にお知らせ下さい。 くすり はい さんそ きゆうにゆう じかん おこな 薬の入った酸素吸入を24時間行います。呼吸の状況に合わせて、退院までに生理食塩水の入った酸素吸入に変更します。 こきゆう らく 呼吸が楽になるため、1日3回吸入を行う場合があります。吸入時間は、7時、14時、19時頃になります。 抗生剤の注射や吸入は、症状により異なります。行う場合は、医師、看護師よりご説明致します。 ひつやう おう 必要に応じて、退院時にレントゲンや採血を行う場合があります</p>				
<p>せつめい 説明指導</p>	<p> まいにち しょうにかい し しんさつ 毎日、小児科医師の診察があります</p>	<p> ないふく はじ やくざいし 内服が始まると薬剤師から説明があります。</p>		<p> いし たいいん 医師より退院についての話 があります</p>	<p> たいいんじ せいかつじよう ちゆういてん かもち たいいん 退院時パンフレットを用いて、退院について看 護師より説明があります。</p>
<p>トイレ</p>	<p> モニター装着中の場合は取り外しを行いますので看護師にお知らせ下さい。</p>				
<p>あんせい 安静</p>	<p> ベッド上で安静にしてください。基本的にプレイルームのご利用はお控え下さい。</p>				
<p>しょくじ 食事</p>	<p> ねんれい おう しょくじ しょうじ 年齢に応じて食事を用意しますが、食べられるものを召し上がってください。ご希望がある場合は 看護師もしくは栄養士にご相談ください。 しょくご くち なか 食後は口の中をきれいにしてください。</p>				
<p>にゆうよく 入浴</p>	<p> お風呂に入れないときはお体をスタッフが拭きます。</p>				

* 入院中、お困りのことがあれば遠慮なく看護師にご相談ください。(1日の流れはF4病棟 入院のしおりをご参照 下さい。)

お子様の付き添いをされる方へのお願い
 ベット転落を防止するため、お子様から一瞬でも目を離される時は、ベット柵を一番上まで上げて下さい。
 付き添いを交代される場合には、以下のことを必ず次の方にお伝えください。分からないときには看護師まで声をかけて下さい。
 ・子供さんから目を離すときにはベット柵を一番上まで上げておくこと
 ・内服をご家族で管理していただいている場合には、内服内容や内服回数について